

第119回 教育研究評議会 議事要旨

日時 平成23年12月15日(木) 15:10~17:05  
場所 事務局第3会議室(4階)

(前回議事要旨確認)

第118回教育研究評議会(定例)(H23.11.17開催)

議題1. 教育センター規則及び教育センター会議規則の改正について(資料1)

議題2. 鹿児島大学教育目標について(資料2)

議題3. 教員公募書類への男女共同参画の推進に関する文言の追加について(資料3)

報告事項1. 東日本大震災の被災地に派遣する医員の処遇について(資料4)

報告事項2. 国立大学法人鹿児島大学職員兼業に関する取扱い要項の一部改正について(資料5)

報告事項3. 平成23年度第1期(7月~9月)研究支援員制度成果報告について(資料6)

報告事項4. 大学入試センター試験時等における学内一時託児サービスについて(資料7)

報告事項5. 一般社団法人大学ICT推進協議会への加入について(資料8)

報告事項6. 教員情報システムへの入力状況について(資料9)

報告事項7. 国際交流会館の建設について(資料10)

報告事項8. 平成23年度若手研究者及び女性研究者に対する研究助成金について(資料11)

報告事項9. 平成24年度公募に係る科学研究費助成事業の申請状況について(資料12)

報告事項10. ヤクスギ・ミレニアム宣言(仮称)について(資料13)

報告事項11. 平成22年度会計検査院決算検査報告について(資料14)

報告事項12. 平成23年度鹿児島大学学業成績優秀学生奨学金奨学生の決定について(資料15)

報告事項13. 平成24年3月卒業(修了)予定者の進路状況について(H23.12.1現在)(資料16)

報告事項14. 本学後援名義の使用許可について(資料17)

報告事項15. 男女共同参画トップセミナーの開催について(資料18)

報告事項16. 学長選考会議(H23.12.5開催)報告(資料19)

報告事項17. 東日本大震災に対する鹿児島大学の支援状況について(23.12.14現在)(資料20)

報告事項18. 行事予定(H24.1~H24.3)について(資料21)

報告事項19. 委員会報告(開催済)

(研究)

①国際島嶼教育研究センター運営委員会(H23.11.28)(資料22)

(教育)

②平成23年度第6回教務委員会(H23.11.8)(資料23)

③平成23年度第6回大学院教務委員会(H23.11.8)(資料24)

④平成23年度第7回ファカルティ・ディベロップメント委員会(H23.11.25)(資料25)

⑤平成23年度第8回教育センター会議(H23.12.2)(資料26)

(入試関係)

⑥平成23年度第5回入学者選抜管理委員会(H23.11.17)(資料27)

⑦平成23年度第5回大学院入学者選抜管理委員会(H23.11.17)(資料28)

⑧平成23年度第7回入学試験実施委員会(H23.11.18)(資料29)

⑨平成23年度第5回入学者選抜方法検討委員会(H23.11.30)(資料30)

その他

[出席評議員] 29名

吉田学長

(理事)河原、島、阿部、前田

(学部長等)石川、平井、武隈、土田、宮嶋、榮鶴、深野、杉原、田中、住吉、岩元、米田、野呂、越塩、  
熊本、福井、坪内、采女、安部、菅沼、井上、下川、門

(事務局長)渡辺

[欠席評議員] 2名  
(学部長等) 與倉、甲斐

[オブザーバー]

坂東監事  
(副学長) 萩野、安部、友清  
(学長補佐等) 鈴木、小栗、山本(淳)、有倉、新森、山本(一)、藤重、清原、吉田、伊地知

[事務局]

(部長) 後藤、油原、野崎、萩元、須崎、長友  
(課長) 山崎、川西、伊藤、上國料、野頭、仮屋、山本、永田、佐藤、神之門、福永、松野下、黒原、折田、松田、瓜生

議事に先立ち、平成23年11月17日開催の第118回教育研究評議会の議事要旨(案)の確認が行われ、原案どおり了承された。

議題1. 教育センター規則及び教育センター会議規則の改正について(資料1)

学長から、教育センター規則及び教育センター会議規則の改正について諮られ、阿部理事から、学芸員養成課程及び大学院共通科目を教育センターが担うこととなったことに伴う一部改正で、教育センター規則の一部改正に関しては、組織として「大学院共通科目・特別コース推進部」を設け、大学院共通科目教育の企画・立案・実施を担わせ、共通教育企画実施部に学芸員養成課程教育の企画・立案・実施を担わせるもの、また、教育センター会議規則の一部改正に関しては、組織として「大学院共通科目・特別コース推進部会」とそれにかかる「運営委員会」及び「学芸員資格科目委員会」を設け、それぞれの担当業務を円滑に処理させるものである旨資料に基づき説明があり、引き続き、前回の大学運営会議で意見のあった事項について、門教育センター長から大要次のとおり説明があった。

- ・ 学芸員養成課程に関する科目等を審議する部門に関しては、平成24年度は共通教育等の各科目を審議する共通教育企画実施部会の下に学芸員資格科目委員会を設置し対応するが、学芸員資格科目は共通教育とは異なることから、平成24年度中に見直す予定である。
- ・ VBLに関する科目等を審議する部門に関しても、平成24年度中に検討する。
- ・ 教育センター規則第12条第1項第2号「大学院共通科目・特別コースの科目担当教員の資格審査に関すること。」に関しては、科目担当教員の資格審査は、各研究科で行うことから、当該規則中「審査」を削除することとした。

最後に学長から、当該規則の一部改正について諮られ、審議の結果、教育センター会議規則の一部改正については原案どおり了承され、教育センター規則の一部改正については、第12条第1項第2号「大学院共通科目・特別コースの科目担当教員の資格審査に関すること。」中、「審査」を削除することで了承された。

議題2. 鹿児島大学教育目標について(資料2)

学長から、第2期中期目標・中期計画に基づき、「進取の気風」を踏まえた大学としての「教育目標(案)」(教員と学生の両者に共通)の策定について諮られ、当該教育目標(案)については、学内の教職員に意見照会した後、執行部で再検討したことを含め資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

なお、学長から、第2期中期計画を踏まえ、各学部等で制定している「アドミッション・ポリシー」について再構築を含め今後検討したい旨の発言があった。

議題3. 教員公募書類への男女共同参画の推進に関する文言の追加について(資料3)

学長から、女性研究者の応募拡大に向けた具体策の一環として、教員公募要領に盛り込む男女共同参画の推進に係る文言を変更(追記)することについて諮られ、河原理事から、12月8日開催の大学運営会議での意見を踏まえ、男女共同参画に係る取組を積極的に推進していること及び当該支援取組の内容が分かるような明記に一部修正した旨資料に基づき説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

報告事項1. 東日本大震災の被災地に派遣する医員の処遇について(資料4)

河原理事から、東日本大震災の被災地に派遣する医員の処遇について、本学から派遣する医員の給与等の取扱いについて必要な事項を定めるものである旨資料に基づき説明があった。

報告事項2. 国立大学法人鹿児島大学職員兼業に関する取扱い要項の一部改正について(資料5)

河原理事から、国立大学法人鹿児島大学職員兼業に関する取扱い要項の一部改正について、兼業システムの導入等に伴い、学会の役員等に従事する場合の兼業手続きの簡略化、他の部局等の長を兼ねる職員の兼業手続きの変更などを行うものである旨資料に基づき説明があった。

報告事項3. 平成23年度第1期(7月~9月)研究支援員制度成果報告について(資料6)

河原理事から、今年度から開始した女性研究者研究活動支援の一環である研究支援員制度(学長裁量経費による事業分)の第1期7月~9月分(8名)の成果等について、資料に基づき説明があった。

報告事項4. 大学入試センター試験時等における学内一時託児サービスについて(資料7)

河原理事から、大学入試センター試験時等における学内一時託児サービスについて、男女共同参画推進室では、教職員のワーク・ライフ・バランス支援の一環として、大学入試センター時等に試験監督等に従事する必要のある乳幼児や学童を持つ教職員(非常勤を含む)に対して、大学側が保育スタッフ派遣サービス(外部委託)を利用して学内に一時託児所を設置することにより、休日勤務時の支援(無料)を実施することとした旨資料に基づき説明があった。

報告事項5. 一般社団法人大学ICT推進協議会への加入について(資料8)

島理事から、我が国の高等教育機関及び学術研究機関における情報通信技術を利用した教育、研究、経営等の高度化を図り、もって我が国の教育、学術研究、文化及び産業の発展に寄与することを目的として設置された「一般社団法人大学ICT推進協議会」への加入依頼が、本年8月に同協議会会長からあり、本学においても各国立大学等との連携を図るために加入(平成24年2月からを予定)することとした旨資料に基づき説明があった。

報告事項6. 教員情報システムへの入力状況について(資料9)

島理事から、「国立大学法人鹿児島大学教員情報システムの管理・運用及びデータ入力に関する要項」第8第1項第1号に基づき、平成23年10月31日までの入力状況について、資料に基づき説明があった。

報告事項7. 国際交流会館の建設について(資料10)

前田理事から、国際交流会館3号館の建設について、第59回経営協議会及び第116回教育研究評議会において同会館の建設が了承されたことを含め、工事スケジュール、建物配置及び個室の間取り等の計画案について、資料に基づき説明があった。

報告事項8. 平成23年度若手研究者及び女性研究者に対する研究助成金について(資料11)

前田理事から、平成23年度若手研究者及び女性研究者に対する研究助成金(学長裁量経費による研究支援)について、資料に基づき説明があった。

報告事項9. 平成24年度公募に係る科学研究費助成事業の申請状況について(資料12)

前田理事から、平成24年度公募に係る科学研究費助成事業の申請状況について、資料に基づき説明があった。

報告事項 10. ヤクスギ・ミレニアム宣言（仮称）について（資料 13）

前田理事から、ヤクスギ・ミレニアム宣言（仮称）への加盟について、ヤクスギ林の動態説明等に大きく寄与するために、九州内の大学及び研究機関が超長期にわたり連携・協力体制を構築するもので、本学も当該体制に参画することとした旨資料に基づき説明があった。

報告事項 11. 平成 22 年度会計検査院決算検査報告について（資料 14）

渡辺理事から、平成 23 年 12 月 8 日に開催された平成 22 年度会計検査院決算検査報告説明会の説明事項（平成 22 年度決算検査報告の概要及び基本方針、検査報告事項の個別説明）について、資料に基づき説明があった。

なお、前回指摘された事項が毎年のように指摘されていることから、各機関にあっては、当該検査報告を熟読し、再発防止につなげるよう会計検査院から要請があった旨併せて説明があった。

報告事項 12. 平成 23 年度鹿児島大学学業成績優秀学生奨学金奨学生の決定について（資料 15）

阿部理事から、今年度から実施する学業成績優秀学生奨学金奨学生（スタートダッシュ学資金の後継事業）について、12 月 12 日開催の学生生活委員会の議を経て、平成 23 年度の同奨学生を決定した旨資料に基づき説明があった。

また、当該奨学金の授与式を平成 24 年 1 月 25 日に連大 3 階会議室において実施する旨併せて説明があった。

報告事項 13. 平成 24 年 3 月卒業（修了）予定者の進路状況について（H23. 12. 1 現在）（資料 16）

阿部理事から、平成 23 年 12 月 1 日現在の平成 24 年 3 月卒業（修了）予定者の進路状況について、資料に基づき説明があった。

報告事項 14. 本学後援名義の使用許可について（資料 17）

河原理事から、本学後援名義の使用許可（新規申請 1 件）について、資料に基づき説明があった。

報告事項 15. 男女共同参画トップセミナーの開催について（資料 18）

河原理事から、平成 23 年 3 月策定の「男女共同参画推進に係る長期及び短期行動計画」において掲げた女性研究者在職・採用比率に係る目標達成に向けて、ポジティブアクション等による積極的な女性研究者の増加及び上位職女性研究者の増加に向けた全学的な取組が必要となっていることから、平成 24 年 2 月 9 日（木）に（独）科学技術振興機構科学技術システム改革事業プログラム主管の山村康子氏によるトップセミナーを開催することとした旨資料に基づき説明があった。

報告事項 16. 学長選考会議報告（資料 19）

柴鶴学長選考会議委員から、学長選考会議の経過について、大要次のとおり説明があった。

- 平成 23 年 4 月 28 日に開催の同会議において、これまで学長選考会議委員に理事 2 名を加えていたが、理事は加えず、経営協議会の学外有識者から推薦された者 7 名及び教育研究評議会から推薦された者 7 名の計 14 名の委員とすることとした。
- 平成 23 年 11 月 24 日に開催の同会議において、学長選考会議の議長であった辰村委員が、経営協議会委員を辞任されたことに伴い、学長選考会議委員を退かれることとなったことから、新たな議長選出が行われ、萬田委員が議長に選出された。また、学内意向調査は学長選考会議で実施することが了承された。
- 平成 23 年 11 月 24 日に開催の同会議において、次期の学長選考方法等について以下のことを決定。
  - ・ 学長候補適任者の依頼は、これまでどおり経営協議会及び教育研究評議会に対し、各 5 名以内の推薦を依頼する。この場合、学長候補適任者の略歴、承諾書及び所信表明書の提出を併せて依頼する。なお、略歴には顔写真を添付するものとする。
  - ・ 学内意向調査実施の前に、学長候補適任者の略歴及び所信表明書を公表する。ただし、当該候補適任者による公開の所信表明の場は、特に設けない。
  - ・ 学内意向調査の実施は、学長選考会議の下に置く意向調査委員会（仮称）が行う。また、当該委員会委員に関しては、学長選考会議議長名で、各部局等に対し、委員の推薦を依頼する。

- ・ 学内意向調査の実施方法、投票資格者等に関しては、現在、教育研究評議会において実施されている学内意向調査を原則として踏襲するものとする。
- ・ 学長選考会議は、学内意向調査の結果を参考に最終の学長候補適任者として3名を選考する。
- ・ 学長選考会議は、最終選考の候補適任者3名によるプレゼンテーションを経て学長候補者を選考する。

報告事項17. 東日本大震災に対する鹿児島大学の支援状況について (23.12.14現在) (資料20)

学長から、11月22日現在の東日本大震災に対する鹿児島大学の支援状況について、資料に基づき説明があった。

報告事項18. 行事予定 (H24.1~H24.3) について (資料21)

学長から、平成24年1月から平成24年3月までの行事予定について、資料に基づき説明があった。

報告事項19. 委員会報告 (開催済)

学長から、下記の委員会については、各部局関係委員から確認願いたい旨の発言があった。

(研究)

①国際島嶼教育研究センター運営委員会 (H23.11.28) (資料22)

(教育)

②平成23年度第6回教務委員会 (H23.11.8) (資料23)

③平成23年度第6回大学院教務委員会 (H23.11.8) (資料24)

④平成23年度第7回ファカルティ・ディベロップメント委員会 (H23.11.25) (資料25)

⑤平成23年度第8回教育センター会議 (H23.12.2) (資料26)

(入試関係)

⑥平成23年度第5回入学者選抜管理委員会 (H23.11.17) (資料27)

⑦平成23年度第5回大学院入学者選抜管理委員会 (H23.11.17) (資料28)

⑧平成23年度第7回入学試験実施委員会 (H23.11.18) (資料29)

⑨平成23年度第5回入学者選抜方法検討委員会 (H23.11.30) (資料30)

その他

学長から、12月5日に開催された学長懇談会について、森副大臣及び磯田高等教育局長から、先に実施された政策仕分けの概要、来年度概算要求の財務省との交渉進捗状況、国家公務員給与削減特例法案による国立大学の対応等 (期限付きで給与削減した場合、当該期間が過ぎた後、運営費交付金が復活する確約ができるか。) などについて説明及び意見交換があった旨の報告があった。

なお、文科省及び国大協としては、仮に給与削減特例法案が成立したとしても運営費交付金だけは減額しないように要望することとしている旨併せて報告があった。

その他

歯学部卒業判定事案に係る和解について

学長から、本件については評議員、監事及び関係部署のみに報告する旨の発言があり、当該評議員等以外が退席した後、河原理事から、歯学部卒業判定誤りに係る被害学生8名中、和解済みの2名を除く6名のうち、裁判において和解協議中の1名につき、裁判所からの和解勧告に基づき12月2日に和解が成立したこと及び本事案に関しては守秘義務がある旨口頭により報告があった。

次回の教育研究評議会は、平成24年1月19日 (木) 午前中で調整することとなった。